

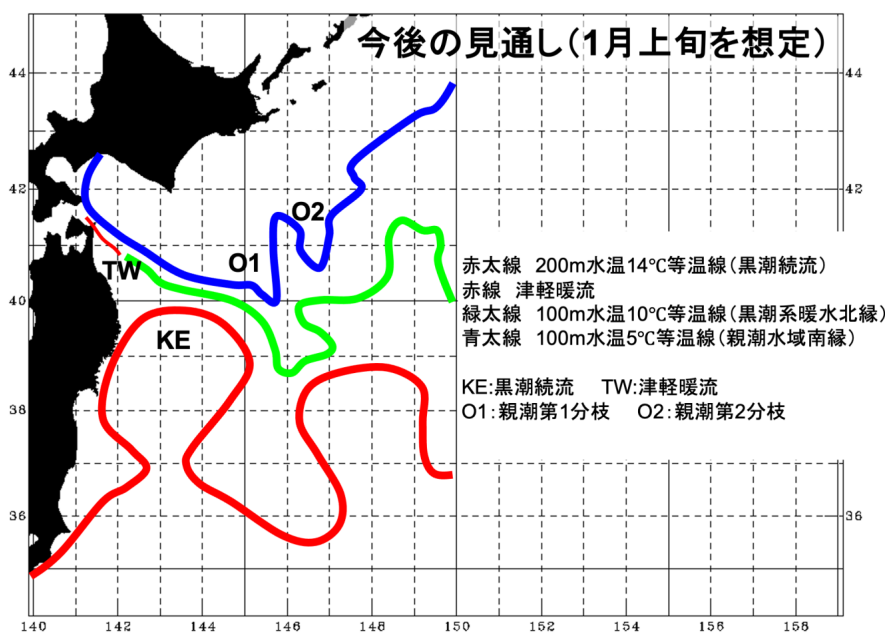


## 2023年度 第4回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産資源研究所がとりまとめた結果 —

### 今後の見通し(2023年12月中旬～2024年1月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置は平年並から極めて北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは平年並みからやや北偏で推移する。
- ・ 根室はるか沖の暖水塊は消滅する。



### 問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構  
担当：企画調整部門(横浜) 上原  
海洋環境部(塩釜) 清水、長谷川  
電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250  
当資料のホームページ掲載先URL  
<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/>

## 2023年度 第4回 東北海区海況予報

《今後の見通し（2023年12月中旬～2024年1月初旬）》

近海の黒潮続流の北限位置は平年並みから極めて北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並みからやや北偏で推移する。根室はるか沖の暖水塊は消滅する。

《海況の経過（2023年9月～2023年11月中旬）の特徴》

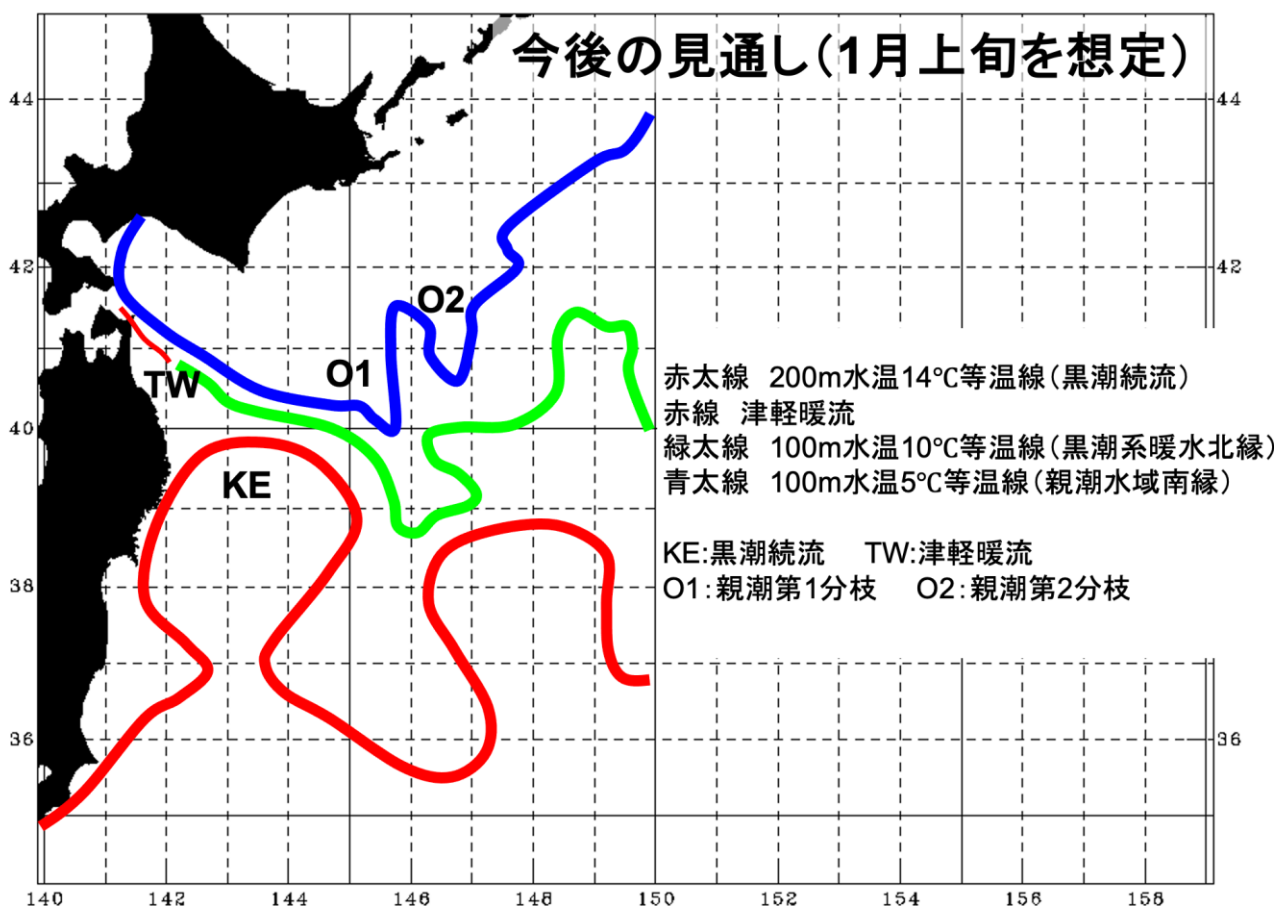
近海の黒潮続流の北限位置は極めて北偏で推移した。親潮第1分枝の張り出しは平年並みからかなり南偏で推移した。金華山はるか沖の暖水塊と鮭ヶ埼沖の暖水塊は消滅、根室沖の暖水塊は東進した。

《現況（2023年11月下旬）の特徴》

近海の黒潮続流の北限位置は極めて北偏、親潮第1分枝の張り出しは平年並みである。根室はるか沖に暖水塊がある。

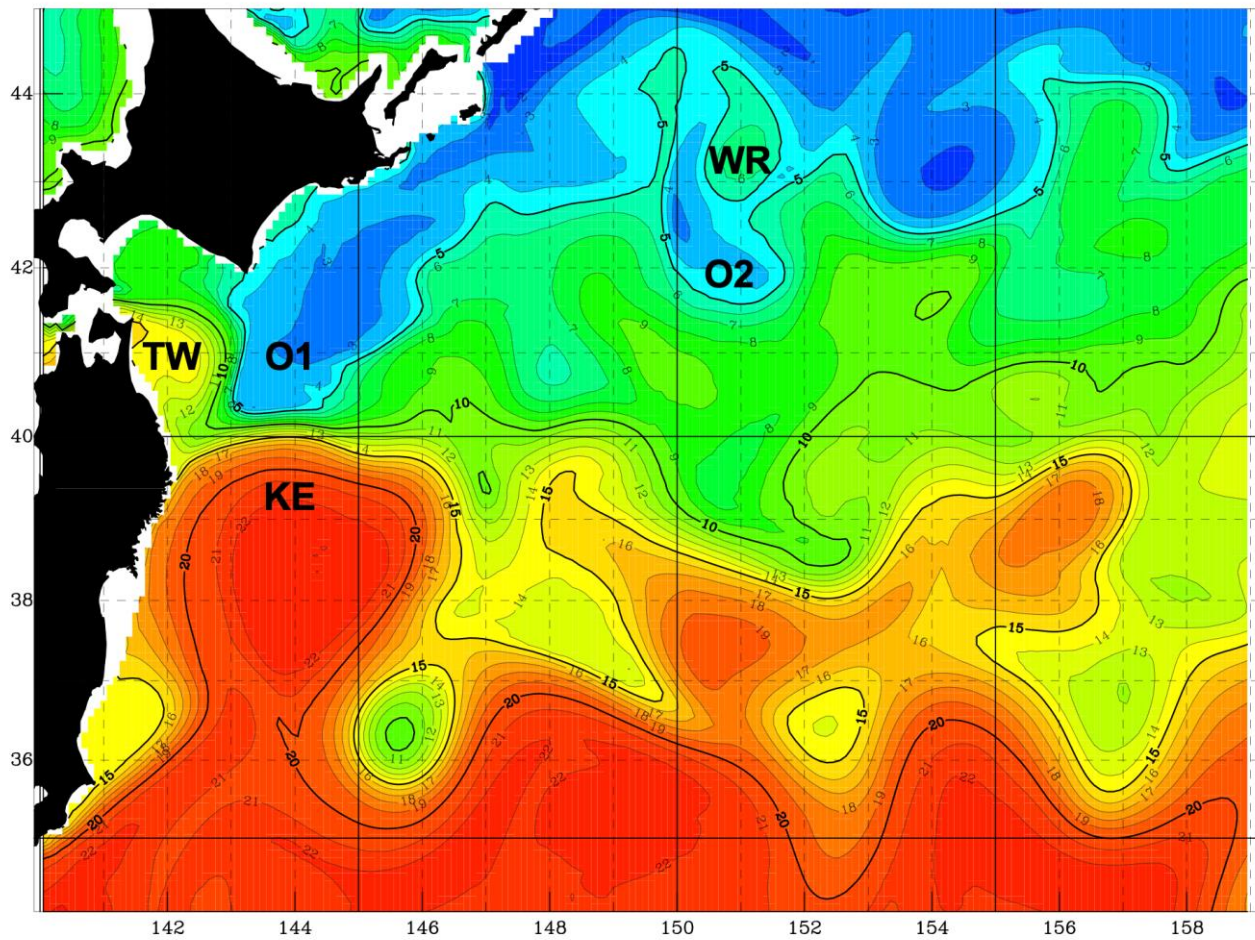
（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2022年3月より運用を開始したFRA-ROMS IIシステムを用いた。FRA-ROMS IIは、我が国周辺海域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

1月上旬予測水温分布図



11月下旬現況水温分布図 (100m深)

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2023/1121 - 2023/1130



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊を表している。

## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>(取りまとめ機関)</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p>
--	--